

専門学校久留米リハビリテーション学院
学校関係者評価

令和6年7月

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン
準拠

〈学校評価〉設定評価項目

基準 1 教育理念・目的・育成人材像		5-6-26	学生の生活環境への支援は行われているか
1-1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	5-7-27	保護者と適切に連携しているか
1-2-2	学校の特徴はなにか	5-8-28	卒業生への支援体制はあるか
1-3-3	学校の将来構想を抱いているか	基準 6 教育環境	
基準 2 学校運営		6-1-29	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか
2-1-4	運営方針は定められているか	6-2-30	学校施設・備品等が定期的に管理・点検がされているか
2-2-5	事業計画は定められているか	6-3-31	学内外の実習施設について、十分な教育体制が整備されているか
2-3-6	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	6-4-32	防災に対する体制は整備されているか
2-4-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	基準 7 学生の受け入れ募集	
2-5-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	7-1-33	学生募集活動は適切に行われているか
基準 3 教育活動		7-2-34	高等学校等に対する情報提供は適切に行われているか
3-1-9	教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界のニーズレベルに照らして、また教育期間を勘案して、到達することは可能なレベルとして、明確に定められているか	7-3-35	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか
3-2-10	カリキュラムは体系的に編成されているか	7-4-36	学生募集活動において、教育成果は適切に伝えられているか
3-3-11	各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	7-5-37	学納金は妥当なものになっているか
3-4-12	授業評価の実施・評価体制はあるか	7-6-38	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか
3-5-13	育成目標に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員確保をしているか	基準 8 財務	
3-6-14	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	8-1-39	中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
3-7-15	資格取得の指導体制はあるか	8-2-40	予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
3-8-16	教職員の能力開発のための研修等が行われているか	8-3-41	財務について会計監査が適正に行われているか
基準 4 学修成果		8-4-42	財務情報公開の体制整備はできているか
基準 5 学生支援		基準 9 法令等の遵守	
4-1-17	就職率の向上が図られているか	9-1-43	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
4-2-18	資格取得率の向上が図られているか	9-2-44	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか
4-3-19	退学率の低減が図られているか	9-3-45	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
4-4-20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	9-4-46	自己評価結果を公開しているか
基準 6 教育環境		基準 10 社会貢献・地域貢献	
5-1-21	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	10-1-47	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
5-2-22	学生相談に関する体制は整備されているか	10-2-48	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか
5-3-23	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	基準 11 国際交流	
5-4-24	学生の健康管理を担う体制はあるか	11-1-49	留学生の受け入れ・在籍管理において適切な手続等が取られているか
5-5-25	課外活動に対する支援体制は整備されているか	11-2-50	留学生の学修・生活活動指導について学内に適切な体制が整備されているか

評価 : 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
1-1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	学則に定めている。また、学校案内でも明文化している。
1-2-2	学校の特色はなにか	④ 3 2 2	④ 3 2 2	ホームページに 1.学習環境 2.e-school授業 3.教員 4.医療法人立の学校 5.国家資格と高度専門士の取得 6.就職サポート の特色について掲載している。
1-3-3	学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 3	④ 3 2 3	活動理念として、学生に誠実な医療人への基礎力と国家試験合格の確かな学力を修得させ、専門教育をととした医療貢献を行うことができる理学療法士・作業療法士の育成を教職員規範とし目指している。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者 評価コメント

特になし

基準 2 学校運営

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
2-1-4	運営方針は定められているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	理念に沿った運営方針のもと、決定事項の周知徹底及び指示伝達を図っている。
2-2-5	事業計画は定められているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	教育方針・活動方針等について教職員で共有している。
2-3-6	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	運営規程を定め、運営会議、教員会議、学科会議等を定期的に行い、意思決定体制を構築している。 組織図にも示している。
2-4-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	就業規則で人事に関する事項を定め、別に給与規程も定めている。
2-5-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	成績や出欠についてH28年度導入のシステムで管理している。また、令和2年度に導入したGoogleforEducationにより、学習環境が整備され学生教員の情報共有や業務の効率化を図っている。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者 評価コメント

特になし

基準 3 教育活動

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
3-1-9	教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界のニーズレベルに照らして、また教育期間を勘案して、到達することは可能なレベルとして、明確に定められているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	業界のニーズに対応できる「高い専門性」「広い社会性」を兼ね備えた自立型学生の育成を大目標に、毎年学年目標を明確に定めている。
3-2-10	カリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	養成施設指定規則に従い編成し、講義・演習・実習は効果的に組み合わせている。
3-3-11	各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	基礎科目の関連項目に横軸を通し、系統学の科目として独自のカリキュラムをH25年度新入生より導入している。また、指定規則の改正に伴い、令和2年度新入生から新指定規則による新カリキュラムにて実施している。
3-4-12	授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	学生による授業評価をH18年より前後期の半期ごとに実施し、ホームページで公表している。令和2年度に評価項目を見直し、さらなる授業内容の改善や学生の自主性・学習意欲を導き出す授業を展開する。
3-5-13	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員確保をしているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	全ての教員が要件を備えており、業界ニーズに沿ったスキル向上や質の向上に向けた研究研修に取り組んでいる。
3-6-14	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	学生便覧や定期試験に関する規定にて明文化し公表している。また、全てのシラバスに科目ごとの評価方法を明記している。
3-7-15	資格取得の指導体制はあるか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	国家試験委員会を中心に担任と連携を取り、年間スケジュールに基づいた緻密な計画のもと、全学年の学生が国試対策取り組んでいる。
3-8-16	教職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	外部の専門分野の研修以外にも、学生の「高い専門性」「広い社会性」向上のため、学院独自の読解力向上CLUBとKRI COAHiNGを習得し、学生指導に活かしている。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者 評価コメント

特になし

基準 4 学修成果

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
4-1-17	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	就職委員会を設置し対応している。また、就職セミナーの実施や、就職面接試験対策など独自に取り組んでいる。
4-2-18	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	現在理学療法学科は6年連続両学科の合格率100%、作業療法学科は5年連続100%である。
4-3-19	退学率・留年率の低減が図られているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	早期対応として学生や保護者と面談を行い、問題解決に向け対応している。昨年度の退学率はPT 8.2% OT 4.8%、留年率はPT 1.4% OT 2.1%であった。今後も低減に向けて取り組む。
4-4-20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	卒業生の活躍をインタビューし、校内掲示や記事にしてパンフレットやHPで掲載・公表している。また、同窓会を中心に情報交換がなされており、卒業生の学会発表の情報も取り寄せている。

4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切

課題・改善方策等

- ・読解力を高める取り組みにより、学力向上を図っている。
- ・卒業生と本学院及び学生との研修の実施も視野に入れ、同窓会組織の活性化に取り組む。
- ・退学については、学院側のフォローと学生の自主性のバランスをとりながら対応する。

学校関係者 評価コメント

・低学年時から近隣の施設などみれる機会があると、モチベーションも上がり意欲向上につながるのでは。

基準 5 学生支援

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
5-1-21	進路就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	例年全国から企業に來校いただき学生と対面で就職説明会を実施している。学内では最新の求人情報を提供している。
5-2-22	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	各クラスは担任・副担任制をとっており個人面談等細やかなサポートができています。保護者を交えた相互体制が確立されている。
5-3-23	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	学費納入に関して他校にはない学費分割納入制度を導入している。その他、独自の特別奨学金制度を設けている。
5-4-24	学生の健康管理を担う体制はあるか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	学校保健安全法に基づき、定期的に健康診断を実施し診断結果の配布・管理を行っている。
5-5-25	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	例年、福祉施設へのボランティア活動、自治会活動などに教員も参加し、外部との連携を取って学生の主体性や社会性を支援している。
5-6-26	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	学生寮や主要駅からのスクールバス運行など整備している。令和6年度からはスクールバス利用料及び車通学者の駐車場利用料を無料化し利便性を高めている。また、学生寮利用の希望者には宅食の利用など、食生活を支援している。
5-7-27	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	例年、保護者向けの実習説明会、国試説明会を実施している。その他、保護者へ向けて適時メールにて学内の連絡・報告や学内通信を発送した。
5-8-28	卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1	4 3 ② 1	就職情報閲覧や教員の対応、同窓会組織があるが、確立した支援体制は十分とはいえない。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

- ・卒後教育の取り組みとして更なる支援の拡充を図る。
- ・社会性が低い学生への対策として、少人数グループを学科教員が受け持ち、学生との距離や学生同士のつながりを深めてコミュニケーションがとりやすい環境づくりをしている。

学校関係者 評価コメント

- ・学生の状況について保護者からの情報共有や、家庭での関係性を把握したうえでの学生とのコミュニケーションが必要。
- ・将来のビジョンを明確にするためにも、低学年のうちから社会性や学力向上以外の面で学生支援が必要。

基準 6 教育環境

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
6-1-29	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できる様に整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	養成施設指導ガイドラインに従い適切に整備している。
6-2-30	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	教材備品台帳で管理している。定期的な管理・点検について、教職員での共有を充実させる。
6-3-31	学内外の実習施設について、十分な教育体制が整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	医療法人立学校であり、低学年より法人内施設で実習を実施している。また養成施設指定規則に従い、適切な実習施設を確保し実習指導者とも連携をとっている。
6-4-32	防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	定期的に防災訓練の実施、防災設備の点検等実施しており、体制は整備されている。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

<ul style="list-style-type: none"> ・法人内実習などで低学年のうちから臨床の魅力を知っておくことが大事 ・教材の管理及び整備の強化
--

学校関係者 評価コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・低学年から在宅分野を経験させる取り組みがあるといい
--

基準 7 学生の受け入れ募集

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
7-1-33	学生募集活動は適切に行われているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	広報・周知に関しては、高校への広報活動や各種媒体、ホームページの活用、ガイダンス、オープンキャンパス等を実施し、教育内容等を正しく知ってもらうよう努めている。
7-2-34	高等学校等に対する情報提供は適切に行われているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	高校訪問では学校パンフレットや募集要項を用いて適切に行っている。
7-3-35	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	ホームページや学校パンフレットへ掲載するなど積極的に行っている。又、職業実践専門課程の要件として学校基本情報を公開して毎年最新の情報へ更新している。

7-4-36	学生募集活動において教育成果は適切に伝えられているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	ホームページや学校パンフレットに最新の国家試験合格率、就職内定率を掲載し正確な情報を伝えている。また、オープンキャンパスで保護者向け説明会を実施し、求められる情報を適切に伝えている。
7-5-37	学納金は妥当なものになっているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	福岡県内においても平均的な額であり、かつ、本学院独自の学費分割プランにより学生に寄り添った支払い方法を工夫している。
7-6-38	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	選考方法は募集要項で公表しており、入試行事委員会により面接・小論文・学科試験等の結果を数値化・点数化し、適正かつ公平な合否判定を行っている。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者 評価コメント

特になし

基準 8 財務

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
8-1-39 中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	計上黒字を維持しており財務基盤は安定している。
8-2-40 予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	予算作成に際して理事長査定を実施し、適切な予算管理を行っている。
8-3-41 財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	適時、公認会計士による監査を実施している。
8-4-42 財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	ホームページにて最新の情報を公開している。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者 評価コメント

特になし

基準 9 法令等の遵守

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
9-1-43	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	教育基本法、学校教育法、理学療法士および作業療法士法、養成施設指定規則などに則り遵守している。法令の遵守について学則へも掲載している。
9-2-44	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	就業規則第3章服務規律に情報管理および保護関係について明記している。また、募集要項に入学希望者へのプライバシーポリシーを明記している。臨床実習においては、臨床実習要綱を毎年作成し、守秘義務及び個人情報保護の尊厳について明記している。
9-3-45	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	外部委員の意見も参考に課題解決に努め、適切に実施している。
9-4-46	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	ホームページで毎年最新の評価結果を公開している。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者 評価コメント

特になし

基準 10 社会貢献・地域貢献

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
10-1-47	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	例年、学校施設を専門分野の外部研修会や講習会等の会場として利用しているが、昨年度は感染防止対策により実施していない。
10-2-48	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	コロナ禍で募集・依頼の減少が続いたが、近隣施設や地域の活動団体と連携をとり依頼も増えてきた。ボランティア情報の学生への周知などにより活動も回復している。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者 評価コメント

特になし

基準 11 国際交流

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
11-1-49	留学生の受け入れ・在籍管理において適切な手続き等が取られているか	4 (3) 2 1	4 (3) 2 1	過去、卒業生に留学生がおり適切に行われた。昨年度は留学生の在籍はない。
11-2-50	留学生の学修・生活活動指導について学内に適切な体制が整備されているか	4 (3) 2 1	4 (3) 2 1	適切に整備されており、卒業生には留学生が国家試験受験、資格取得して専門分野へ就職している。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者 評価コメント

特になし
